

露國太公殿下を迎へ奉る

露國皇室の懿親。ジョルジュ、ミハイロウィツチ太公殿下。今日しも朝鮮を
經て南し給ふ。殿下。露國皇室陛下が我が天皇陛下に御即位大典の御祝
意を表せられ給ひ且に露國々難に際して日本國民が最も深厚なる誠意を
致し參らせたることを感謝し給ふ深甚の御旨を體せられたりこそ漏れ承
る。あはれ。殿下の行かせ給はん極はみ。草木も歡ひをあらはせこそ。

御機嫌いと麗はし

太公殿下長春驛御通過

ホルワツト將軍等奉送——驛内外森嚴なる光景——文武諸官の奉迎

露國太公ミエロウィッチ殿下の御召隨行列車は豫定時刻より後れて長春驛に到着せり當日停車場警戒は嚴重を極め豫定の奉迎者以外は絶対に出入を禁じ將校の引率せる多數の兵士の外佐藤警視總長の自ら指揮せる警察官亦多數驛内外を整備する中に東清列車は徐行してブラツトフオームに停車す當日驛所に奉迎せるは中村都督一行、本郷十七師團長同副官、木村式部官、白井、田中兩武官、奉天長春吉林駐在露國領事、國澤滿鐵副總裁一行、王吉林巡按使、郭吉長道、雲振閣長、公主嶺守備隊司令官同副官、山内長春領事始め滿鐵社員其他代表官甚多數にして東清鐵道長官ホルワツト將軍外三十名長春まで御同車奉送せり是より先き長春停車場一等待合室の入口及び東清滿鐵連

鴨綠江の朝風快く

露國太公シヨルジ、ミハイウイツチ殿下は七日朝八時十分安東縣に御
安泰あらせられたり。是れより先き寺内總督は朝鮮より御出
迎申し上げ、プラツトフォームに待ち上げ奉りたるが太公殿下
御著あるや總督は佛蘭西語にて御挨拶申し上げ
其他の出迎議員は御少憩中接伴官中最少將の通譯にて御挨拶申し上げたり
太公殿下は今回寺内總督が接伴員仰付けられ居
るを聞召され特に露帝陛下に其旨電奏せられたなり

り(安東縣發電)

歡の雪も地を清めて

平壤驛頭御道遙々官民堵列

百米突毎に歩

滿鐵沿線夜間警戒
奉天御通過

露國太公殿下には豫元の如く七日朝奉太公殿に御者あり
 之れより先き中村關東都督は佐藤親總長、田村陸
 軍部事務總長、江藤國光、矢野龍貴、上野清海に
 御出迎へ申し上りて國府總長、關東都督、川上清海に
 御出迎へ申し、本御師團長、露國領事亦御出迎へる爲
 め長、森田、向ひて宮城縣太公殿發要長は鐵籠まで同じく出
 張せるが奉天驛に於ては出入者を一々
 誰何し警戒頻る嚴重にて佐藤親總長は自
 ら驛前に立ちて發官を指揮し居たり

太公殿下御
 一行は早朝の事にて御寢のまゝ特
 別仕立の貴賓車にて安東縣に向は
 れたり殿下は御年五十三、陸軍中將砲兵總



出世力止

(4) 大蛇
(5) 九淵
(6) 崑崙



御召艦釜山入港


總督奉迎

國大公殿下を奉迎す可き御召鹿島郡鹿嶋縣鹿島は七日朝六時、軍艦隊形を以て後々に入港し來り、港口に相並び碇泊し頗る壯觀也

分縣者州者そのまゝ、同縣に倣ひして
時おのける侍安東縣、太公殿下
おのしの貴賓等に、安東縣發京城津
過の倣ひ(を重復)

總督の臨時列車は七日午前八時二十

總督奉迎


名古屋監獄焼く
 軍像出動囚徒二千名を警戒す
 六日夜名古屋市内、種町名古屋監獄、荒軍家、監獄せりこの暴事に、数々の
 總督の臨時列車は、七日前八時二十一分の豫定(金更鐘)に、名古屋へ入る。

▲秩序整然

劍短銃にて在監囚徒
十二百名を避難せしめ
六日午後六時五十分名古屋監獄内霜
守林慰所より出火し折柄の西北風に

美顏白粉

お使ひになつて（其二）

「私のお化粧」

まだ學生の私は、白粉おしろいいふも
用ひませんでしこ。袴はかまを穿はけら

餘り白粉の態さらしいのが厭だ
のです。所が美顔白粉が出来て

其愛用者になつて終ひました。
 粉は生れつき色が白い様な白さ

くから宜い、ご斯う人も言ひ私
ひます。それに餘に白粉垢の着

もなく、自然の色艶が出て、人
弄した跡の見えない所なき、さ

は學者の造られた丈あります。
女學生用として、この美顔白粉

三、見合みあひまでの心配しんぱい

朝鮮 高橋千香子
大邱 性來色が黒く吹出物の多い私に

さんな白粉しろこものりません。直ぐすぐ
 て終しまひます。九月くがつには見合あひひひ
しゅう かうふ かう せきしよ ひ じ

A black and white woodblock print illustration of a man in a dark, patterned kimono and a light-colored hakama, walking barefoot. He is carrying a long, thin object, possibly a sword or a staff, tucked under his arm. The background shows a simple structure with vertical lines and some foliage.

たせ美「何條何程の事やあらん」と一生懸命彌二郎目寛げて突出す、彌二郎「ヤン」^ニ「チャリン」引拂ひます、手銃^ニ「槍を繰込み、二度目に突出す、彌さん^ニに斬らう」と、小栗の家^ニ片岡彌太夫云ふ者^ニ飛来つて彌二郎の胸からウームと羽撃攻めに組付て来る、此組なか^ニ「大力無敵で御生じ来、組付てや否や」彌前次、此間に御逃げ近せ^ニ「此間に御立退き道ばせ」聲を掛ける、美作より幸ひなりと、突然彌二郎を置いて逃げる「忠告者」^ニ飛込まんとしたが、何分後から片岡が組付て居るから自由ならぬ、そこでダツ、刀の柄を以て、彼の腰に突きました、アツと云つて手を放した後へ退がるのを横向きに追ひ、美作云ふので「エイツ」嘶り上げた、肋の方から肩の方へ斬り放しめて

手裡には汝なるか、さては汝に於ては一流指南を致する立派な武藝者でありながら、悪人小栗美作に加増なし、御家に手を掛ける凶者なるか、武士の威風にも置けぬ奴、覺悟しろ、庄「賊れ彌二郎」と言ひながら二度目に突出す槍を、パチン引拂ふ、流石は全田、大島流の達人、突出す槍は電光石火に異なり彌二郎は鞍馬流、一刀流に亘つての奴、ヤン「チャリン」、妮れおれり立命、其内に槍を左右に引拂ふ「エイツ」蹴り込もうとする、槍を手銃^ニ繰込手槍へをする、即ち先刻から大勢を斬り、疲れを生じ、其上左の腰に手裡劍を立てられました、剛氣溢れる開祖彌二郎、此奴を仕止めなければ、我儘の妨げとなりと思ふから、生田の突出す槍をダツ、體を繰り、突はされたら、それがため槍は

●模範的本邦隨一の英語雜誌 英語研究社發行ABC 中等英語・英語研究と云へは英語を學ぶ人とはどれがどれは必ず讀みて居る揃ひも揃つてゐる實共に本邦隨一の英語雜誌である吾人は今新年號の盛容に接して同社からでは迎も企て及ぶ所にあらざる其新創案にたいへん感嘆す

大阪市東區本町五丁目東洋商會に
ては今回防寒並に旅行用氣布に
織上大判二枚縞き一組一圓九十錢同
特別優等一組二圓八十錢白布縞
上大判二枚縞き一組二圓八十錢同
特別優等一組參圓九十錢(ラクダ)毛
別大判二枚縞一組四圓五十錢
云霧格の大襦袢に十八金色の御大
典記念徽章(桐桐人)を套組に
て賞品として相済賣を始めたが
何分共前代未曾有の安値品賣の爲
良にて大盛況を博しつゝ有因に同
希望者は地方の顧客に特に便利を圖
包料費で送附し尚信用と責任を重
し買取後急に過ぎざし時無割引

約百圓の資本は五〇圓
純益ある活動興行を手輕に
委神託明書にあり新築金銀逸れ
東京芝居六八八八
替東京一六八八八
大澤商會

美人
○常春夜見
か花一三銀切手
五枚送れ直送

大阪市南區瓦屋町四番丁 大貴堂

毛深き人は
縁遠い
ヒゲ・腋毛・すね・胸毛が濃い爲に
御婦人方は御湯屋に参られ皆裸と一
所に入浴せられに恥しかつ又白粉
を塗るにも能くつかず世間には毛深
の爲に縁遠いなど御女はききに
方々多岐あらんが御女はききに
配はれぬ三銀切手は決して御心
東京芝居六八八八
御中興あれば安全なる毛生三銀を御
代金に致します

クラ
美
の
素
白
粉

他の白粉には眞似の出來

ぬ
クラブ
白粉
おしろい
クラブ

美^びの素^{もと}白^{しろ}粉^{こな}の特^{とく}長^{ちやう}

【第一に】 クラブ美の素白粉並に最新式のクラブ白粉は共にクラブ本店化學研究部で最近發明し、たクラブ獨特の美身粉が配合してありますから、削けた時に高潮で美しが出るばかりでなく洗つた後の生地にも、白く美しくなるこゝろ、實に不思議な作用を有して居ります。

【第二に第三に】 クラブ美の素白粉並にクラブ白粉は從來一番雪色が白い雪謂はれてゐた白粉よりも一層色が白く又從來一番光澤がある雪謂はれてゐた白粉よりも一層美しい光澤があつて如何にも地肌の自然から出た白さ美を現します。

【第四に第五に】 クラブ美の素白粉並にクラブ白粉は分子が極めて細かいので從來一番ノリミノビがよい雪謂はれてゐた白粉よりも一層ノリもどき宜く殊にお化粧の持が良くて永くお化粧の崩れないことは他の如何なる白粉にも遙かに優つて居ります。

【第六に】 クラブ美の素白粉並にクラブ白粉は絶對に肌を荒らす恐れがないのみならず其の原料中にはクラブ本店獨特の有効美身粉が配合してありますから、お使いになればなる程愈々益々皮膚の色艶が美しくなり肌質が細かくスベクして参ります。

【第七に】 クラブ美の素白粉並にクラブ白粉は服を着た時、試験を経た絶對無菌の純良白粉で其の品質の優秀なることは他の如何なる白粉に比へても不レリト一頭地を抜いて居ります。

火災保險金受領謹告

今回罹災に就ては迅速に御

釜山松原

1000

壹千五百圓也

額昨年未極簡便に御支拂
に以紙上受領謹告候

ホームリング商会

火災保險金受領謹告

は豫て貴商會保險部と火災保
險處今回罹災に就ては迅速に

釜山許斐

1. *Phragmites australis* (Cav.) Trin. ex Steud.

豫て貴商會保險部ニ火災保

金額昨年末至極簡便に御支
特に以紙上受領謹告候

山
ホームリンガ

火災保險金受領謹

金領作半末至極簡更に御

釜山三

之命公之直輩

金九百參拾圓也

引特に以紙上受領謹告候

金山
ホーム
リン
カ

[illegible]

し、自主自由の思想に當みて、初め
之を能くすべく、支那人民が、
不熱心なるは、亦其故なしとせ、
故に今日雲南其他の地方に、獨立連
盟を以て之を目すべからずして、支
那人は何處までも支那人なり、袁氏
を罷はざるものは、第二の袁氏第三
の袁氏を求むるか、然らざれば自ら
袁氏ならむと欲するものに過ぎず、
其施設企畫も亦支那式にして、専ら
勢力を張るの間に於て、萬一を僥倖
し、自主自由の思想に當みて、初め
之を能くすべく、支那人民が、
不熱心なるは、亦其故なしとせ、
故に今日雲南其他の地方に、獨立連
盟を以て之を目すべからずして、支
那人は何處までも支那人なり、袁氏
を罷はざるものは、第二の袁氏第三
の袁氏を求むるか、然らざれば自ら
袁氏ならむと欲するものに過ぎず、
其施設企畫も亦支那式にして、専ら
勢力を張るの間に於て、萬一を僥倖

むることなれり。斯くて通州延長計畫は、鐵道止まりなりしが、北方鐵道の關係者は、他の方面即ち唐山より北に至る綏遠敷設を計畫し、之に滿意して、一八九九年には開平に向て鐵路の築造に著手し、同年中に之を竣工し、翌年には古冶まで延長せられしも、此時支那鐵路公司の資金は殆ど消費盡れて居たりき。然れども支那の形勢は世界の趨勢に伴つて變移し、鐵道問題に對する北京中略(但に科學の事を語るに足らざる)假に科學の事を語るに足らざる者若しくは篤志家に對するの禮ならんやとせば、余も亦同氏の言辭を破びて預め其所謂謬説を仰ぎつつ、同氏に一言の間はんとするものあり即ち京日廿七日電有云、山東省題せる「前報」若し魯南の晴斧の如き石壁す震りたりせば地上の石塊が電氣に打たれて浮形の斷片を四散せるに非ざる乎」

於此に於ける洛東、開慶、尙州、榮州、永州、廣州、高靈、梁山、達城、昌寧、密陽、金海等の各郡縣に發見したる跡を觀て見れば思ひ半に過るものあらん或は小砂利交りの地質もあらん乍去電氣的總經路蓋岩石上に之を發するは吾人の常識所聞たるべき之を耳にして破棄するものにして、故電は絶縁に向つて破壞するものにして粘土砂利の如き雨水の滲入するものに對しては無聲放電(Unsilent Discharge)といへ

に建衛する所あり、純の計畫に對ては非常なる反對を生ぜり。蓋し通州は北京の近所にて、其の支關と云ふべき處なり、白河を船にて遼通州に達し、此處より北京に入るものとす、故に鐵路を北京まで延長とす謂ふを懼かり特に通州迄敷設との案を以て上奏したるものなるべし。北京宮廷に於ける反對派は此の建に接して大に駭き、北京の傍ま鐵道を近づけては由なし大なる鐵道及び之に伴ふ外國の勢力は成く北京より遠ざけ置くべきは、近き事ぞと、朝廷の議論沸騰して決する所なく、遂に皇帝は上諭を發て各省總督及び巡撫の意見を徵す

「時」の力は流石の餘聞題を釋然たりしめ、一八九一年に李鶴梅は古冶より山海關まで鐵路の延長を劃し、キヤンド氏再び之が工事を督し、一八九四年の初めに竣工を告げたり。是より先、一八九〇年に北京通州線計畫廢止せられたる時李鴻章は別に新計畫を立てたり、即ち北方滿洲に向つて總路を延ばし、鎮州を経て天津及び山海關を藉民宅に連絡し、それより遼河を横ぎりて奉天に到り而して若し能ふべくんば總路を單獨に敷設の速くまで延長せんとするを圖りき。

雷石に就き再び

無銘の傳説に惑ふ人に告ぐ
『コンダクターチップ、ジスチャージ』
Conductive Discharge として破壊の云に伴はざるものなるは亦如何か吾人は前説に數歩を誤り全然之を無視することも尙且つ同氏の謂はるは陰陽兩性の中間に介在せる若干な電氣物を破壊して中和化する期合の事物を破壊したと中和化する期の破壞放電がよく斧を作り劍を造りたりとの奇聞は未だ嘗て之を耳にさざる處なり、蓋し放電の結果は物理的破壊のみにして電氣的な故に特別の破壊をなすものにあらざらん、火藥の力を據ると其の結果はのみ而も余の是未だ「ダイナマイト」を以て岩石を破壊したる點に於て劍又は斧形の一

カサリ村田氏は勿論之と同じ
『コンダクターチップ、ジスチャージ』
Conductive Discharge として破壊の云に伴はざるものなるは亦如何か吾人は前説に數歩を誤り全然之を無視することも尙且つ同氏の謂はるは陰陽兩性の中間に介在せる若干な電氣物を破壊して中和化する期合の事物を破壊したと中和化する期の破壞放電がよく斧を作り劍を造りたりとの奇聞は未だ嘗て之を耳にさざる處なり、蓋し放電の結果は物理的破壊のみにして電氣的な故に特別の破壊をなすものにあらざらん、火藥の力を據ると其の結果はのみ而も余の是未だ「ダイナマイト」を以て岩石を破壊したる點に於て劍又は斧形の一

爲すものなるや且つ其の石屑の發見したる多くの地質を研究考察せられ

用は地上何尺の空中に於て放電中和するや、將又地中に於て此の作用を爲すものなるや且つ其の石屑の發見したる多くの地質を研究考察せられ

余が今日迄に見聞したる多くは落
し易き小曲き山角若くは絶頂點に

事の跡に於て火薬を以て岩石を破壊

感すべきは、是れ支那の形勢を顧る
の、先づ注意すべき所なり。
其れ支那人民は、滿洲朝廷を排除
して之に代ふるに共和政體を以て
たるものにして、新政府の規模未だ
ならず、憲法すら未だ制定せられず
て今日に至り、忽ちにして袁大總
統を皇帝と爲し、君主政體の舊に復
つたこと、其事如何にも不自然な
ものとす。北京政府（文武政治）
も、北庭を宣言すれば、所在文武官
民代表者も、唯々附從て異を立て
るものなし、是れ等爲政者の願望
であるに山といふ程も、抑も亦支

(承前)元來支那に於ては歴代孔子を
尊奉し、其廟を修築する雖も、孔子
の説く所の如きは、概に皮相を傳上
るに止まり、其真意なる王道の如き
は、何人も之を行へるものなり、孔
子歿後支那を統一せる、最初の皇帝
たりし秦始皇帝より、現代の將皇
帝たらんとする袁大總統に至るまで
一人も實行せるものなし、唯唐太宗
文皇帝のみ、稍や之に近いかりしの
然るに孔子崇拝に至れば、歴
朝及びその孔子崇拝を恐るゝ懼
あり、既に王道の大蓋の没却せられ
たるは勿論にして、修飾儒家の綱に
至るも、亦然り、孝道は個人道德
基本なり。然るに今日に於ては概
し、唯厚葬の陋習を發し、虛禮の
情を飾るに過ぎず。假令魯夾の孔
子を以て、先聖の遺教を揚ぐるべ
しをして云はしめば、唯苦笑憂鬱
に感ぜざるの外なかるべし、
孔孟に雄姿雌化たるは、寧ろ支那の
の孔子に對する眞面目の感に非ざ
か、支那民族に蓄習せる醜惡の臭
は、支那の芳容すら惡臭充ちしめ
り、寧ろ我邦の千有餘載、孔子の
意を繼承し、上に王道を行ひ、下
に修飾儒家を見る事、漸くなりとしむべし。

草を刈り、城内の畜産飼料ならしむるが如き事をなすなり。古に云ふ、周の文王の苑囿は菊菜の者か行くと聖人の墳墓には菊菜の者を行くしめざるべからざるか。小生等日本人の理想に於ては、決して盛徳の行為と目すべからざるものなり。現代に於ては畢竟孔子をして、支那歴史を飾るべき最大の裝飾品として、實用品となさざるが如し、蓋し孔子の心血を流ける春秋は決して一の歴史を記せる者に非ざるなり。萬代師表の稱あれども、萬代一人の弟子なきが如し、支那民族の爲め慨嘆に堪へざるなり。

停車場に至るに列車未だ來らず。漸く一時間の遅延をなし、四半日出發する。時に夜月可の如く、始めて東山を出づ。少少後の四重山壯月、景なり。車中再び寝ね、午前九時餘方に著する頃始めて覺む。魯國より南方は英國の建設に係れる。魯國車を改め、英國式のものをを用ふ。其力獨逸式と大差なきが如し。此附近は連年飢饉に襲はる、地方にして、窮民頗る多く、家々子々賣るは、今猶盛なりと云ふ。停車場等に無數の乞食、棚外に棲まり、時常糞を乞へる(未完)

○ 芳子

あるあり過りに由來を究めずして直ちに以て無稽の傳説なりと一擲の下に斥け去らむとするが如きは識者の取らざる所なり

日 報 歌 壇

月夜えてわが露黒き冬枯れの野末に立ちてうら悲しく紅霞をわれに妬しも紅霞きて君が夢心地をそ書きて見ぬおんな名きが囁聞く夜なりいと師やかに粉雪降かかな橘の上銀色に濡るゝ頭長き餘韻の纏鳴りわたる。

會學中民國本日大

[illegible]

東京 駿河臺 大日本國民中學會
 電話 二〇〇四
 東京 二〇〇番 本局 三〇〇四
 七〇〇七

歳改る好機は今！

一年の計を定む可きは正に今日此際也。今年こそは大に勉めんと堅い決心をなせる有爲の年少諸君は速に本會に入り通信教授を受けよう諸君が將來の立身成功の門はやがて開かれん

本邦唯一の通信學校

本會は文部省令による中學校の全科目を講義録によりて教授す講義の懇切平明と一切の取扱の教育的なることを以て夙に本邦唯一の通信中學校と稱せらる目下會員廿餘萬人

■自宅に中學全科を修了される

本會中學補習科 六ヶ月卒業
 中學正則科 二年半卒業
 中學速成科 一年半卒業
 高等中學科 六ヶ月卒業

名會長 正三位 尾崎 行雄
 學監 文部博士 遠藤 隆吉
 文部博士 山内 繁雄

學事 文部博士 三宅 雄二郎
 顧問 文部博士 浮田 和民
 文部博士 和田 垣謙三
 文部博士 新渡戸 稻造

附義錄
 見本附會則無代進呈

圖六十五 鐵

